

善意のお米アフリカに

8/14 北中

稲刈り作業を体験する小学生たち＝滑川市坪川で

今週の日曜日
誰にも参加の
協力をお願いします

食とみどり・水を守る県民会議が二十三日、滑川市坪川の水田で栽培した「アジア・アフリカ支援米」の収穫作業を行った。収穫した約二百キを非政府組織（NGO）を通してアフリカのマリへ送る。

支援米の活動は二〇〇二年から始まり今年が十四回目。滑川市や富山市などのガールスカウトに所属する小中高生十二人と保護者らが参加し、田に足を取られながらも懸命に鎌を振った。

参加した立山町の小学三年山田さくらさん

滑川で児童ら収穫作業



「ふしは「疲れたけど、い」と、息を切らしながら稲を刈り取った。通して、日本は食料が「てほしい」と話した。

同会議の梅原豊弘事 豊富にあるということ

(岡本真穂)

8/24 富山

マリ支援米刈り取り 川

アジア・アフリカ支援米の稲刈りⅡ写真Ⅱが23日、滑川市坪川で始まり、約30人が早生品種「てんたかく」を収穫した。24日も保育園児が作業し、来年1～2月にかけてアフリカ・マリ共和国に送る全国の支援米に約210キを届ける。



食糧難の人に向け、食とみどり・水を守る県民会議が取り組み、滑川では14年目。作業に中松清孝議長やガールスカウト県連盟第33団(滑川)のほか、今年と同36団(上市)が初めて参加した。団員は水田所有者の藤井宗一さん(67)に学び、カマで稲を刈り取った。はさ掛け作業や、昔の足踏み式脱穀機も体験した。

- 25(火) 県教組 街宣 AM7:30 CIC前
 - 26(水) 同上
 - 27(木) 同上
 - 29(土) レッドアクション AM11:00 CIC前
 - 30(日) 全国100万国会前10分行動
 - 7エリア(富山・石川・福井) PM2:00 街宣とスタンディング
- 富山県行動